

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。  
書肆心水 FAX 03-6677-0682

# サド侯爵夫人とその夫

式場隆三郎

日本におけるサド論の嚆矢、夫婦関係に注目したサド入門

獄中の横暴無類の変質者によくかきつけた天使のような純情の女性

長く獄中にあったサド宛ての夫人の手紙を多数引用した、物語風の簡潔な夫妻の評伝。「サド侯爵夫人」「愛の異端者サド」の二部構成。第二部のサド篇では『ソドムの百二十日』他サドの主要著作の梗概と歴史的背景を紹介。日本で初めて本格的にサドを論じた記念碑的著作。

**式場隆三郎**（しきば・りゅうざぶろう）  
1898年生、1965年歿。精神科医、芸術評論家。新潟県出身。新潟医学専門学校（現新潟大学医学部）卒業。医学博士。静岡脳病院院長等を経て式場病院を開設。白樺派の影響を受け、医学の傍ら柳宗悦らの民芸運動に参加。画家山下清に注目し、その後援者となる。著訳書は非常に多く、著書にはよく知られた『二笑亭綺譚』のほかに『ファン・ホツホの生涯と精神病』『バーナード・リーチ』『ロートレック』『ゴヤ』、書肆心水再編集復刻版に『民芸の意味』がある。

「お送りした品は、お気に召さなかったのでしょうか。二週間ものあいだ、何もおいにらないのですか。あなたの沈黙は、わたしを殺してしまいそうです……」

「これこそ高慢な嘘だ！ これほど陰険で無恥な嘘っぱちをでっちあげるには、恥も外聞も知らぬ怪物、淫売女でなければできない。」

侯爵夫人にとって、サドという男は暴君であると同時に、一人の不幸な夫にちがいがなかった。しかし、このカトリシズムこそ、サドのような無神論者に反抗心をつのらせ、不快の種を植えつけるものであった。

<b>新刊</b> 注文扱返条付 (清藤)	取次番線印	<b>サド侯爵夫人とその夫</b> 式場隆三郎 ISBN978-4-910213-10-1 C0023 A5判上製 256頁 本体6300円+税	<b>12</b> 月中旬刊
	お名前		

ご注文は JRC へ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。(了解者 JRC 後藤)